

令和6年度 学力・学習状況調査

浅羽中学校の分析と今後の対策について

この報告書は、今年度の全国学力・学習状況調査の結果を受け、本校で問題や質問を分析し、本校の生徒に見られる顕著な表れに的を絞って記述しています。今後は、生徒のさらなる学力向上を目指し、以下の対策に取り組むとともに、家庭と連携して一人ひとりの生活習慣も充実させたいと考えています。保護者の方々の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

1 生活習慣や学習環境に関する質問紙（○よい点 ◆課題が見られる点）

主な傾向	本校としての取組・御家庭へのお願い
<p>○学校に行くのは楽しい。</p> <p>○わからないことや詳しく知りたいことがあったときに自分で学び方を考え、工夫することができている。</p> <p>○授業や学校生活では友達や周りの考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。</p> <p>○携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っている。</p> <p>○毎日、同じくらいの時刻に起きている。</p> <p>◆平日1日当たりに行うテレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式ゲーム、スマートフォンを使ったゲームを含む）を行う時間が多い。</p> <p>◆学校の授業時間以外（平日）に1日あたりに勉強をする時間（学習塾や家庭教師、インターネットを活用した学習を含む）が少ない。</p>	<p>浅羽学園では、保育園・幼稚園・こども園と小学校、中学校とが連携し合い、さまざまな教育活動において「任せて認める」指導を行っています。引き続き、プロセスを重視し、さまざまな場面で承認を与えながら、生徒の自己肯定感（ありのままの自分を肯定する感情）や自己有用感（他者の役に立っているという感情）を育むことにより、生徒の主体的に学ぼうとする力や級友と協力して課題を解決する力を高めていきます。</p> <p>また、学力向上のために、授業や宿題の場面で、AIドリル（キュービナ）や問題集、プリントを有効に活用しながら、予習や復習の学習の量と質を高めるようにしていきます。</p> <p>御家庭でも、生徒が主体的に取り組めるように励ましていただきたいです。</p>

2 教科に関する調査（○よい点 ◆課題が見られる点）

【国語】

学力調査から見えた顕著な表れ	今後の対策や継続する点
<p>○自分が伝えたいことを説明するために必要な情報を取捨選択する力が全国平均より高い。</p> <p>◆記述式の問題（四問）の無答率が高く、正答率が低い。</p> <p>◆情報と情報との関係を読み取る力が弱い。</p> <p>質問紙より</p> <p>○国語の勉強は大切だと思っている生徒が全国より3ポイントほど高い。</p> <p>○国語の授業の内容はよく分かったと回答する生徒が全国平均と同じくらいである。</p> <p>◆国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解していると回答する生徒が全国より4ポイントほど低い。</p>	<p>文章に書かれている内容を的確に捉え、要旨を簡潔にまとめる力や、情報と情報を結び付けて考える力に課題があると分かりました。</p> <p>国語の学習に対して前向きに取り組む姿勢を大切にしながら、論理的に考え、伝え合う授業を行っていききたいと思います。</p> <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の情報を関連付け、条件を満たして自分の考えを形成する場面を意図的に設定します。 説明的な文章の読解の際、段落の働きや論の展開、「事実」と「意見」の関係などを押さえていきます。

【数学】

学力調査から見えた顕著な表れ	今後の対策や継続する点
<p>○領域「A 数と式」において、等式を目的に応じて変形する問題では、全国平均を3ポイントほど上回っている。</p> <p>○領域「C 関数」は、全国平均に近い正答率になっている。</p> <p>◆全ての領域において、全国平均を下回っており、特に、領域「D データの活用」は、8ポイント程度下回っている。知識や技能の定着が不十分であり、与えられたデータから考察し、数学的な表現を用いて説明する力が不足している。</p> <p>質問紙より</p> <p>○全体の項目において、肯定的な回答が多い。</p> <p>◆「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の肯定率が低い。</p>	<p>全ての領域において、「知識や技能」を定着させ、それらを「活用する力」を高める必要があります。</p> <p>【「知識や技能」の定着に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の定着状況を把握することに努め、個々のペースに合わせた学びとなるような教材提示をし、知識や技能の定着を目指していきます。 <p>【「活用する力」の向上に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発展的な課題として、知識や技能を活用する場面を設定します。 数学的な表現を正しく用いることができるよう確認します。 <p>・数学的な考え方が身の回りに生かされている事例を紹介したり、生活に密着した課題を設定したりします。</p>